



厚生労働省発表
平成21年3月11日

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
担当係 : 成年者調査係
電話 : 03-5253-1111 (内線 7592)
03-3595-2413 (ダイヤル)

第6回21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 第1回の独身者の結婚の状況	
1 この5年間の結婚の状況	3
2 親との同居の有無別にみた状況	4
3 仕事の有無別にみた状況	5
4 所得額別にみた状況	6
II 夫婦における子どもの出生の状況	
1 この5年間の出生の状況	7
2 妻の仕事の有無別にみた状況	8
3 妻の職場における育児休業制度の有無別にみた状況	9
4 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況	10
5 夫婦の合計所得額別にみた状況	11
III 就業の状況	
1 就業の変化	12
2 結婚の状況別にみた就業状況の変化	13
3 仕事をしていた女性の結婚後の就業継続の有無	14
4 仕事をしていた妻の就業継続の有無	15
5 仕事をやめた者の退職理由	18
参考	19
用語の定義	21

第6回21世紀成年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成14年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者）を対象とし、そのうち、第4回または第5回調査において協力を得られた者（及びその配偶者）を客体とした。第1回調査対象者の第6回調査における年齢は、25～39歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第6回調査 平成19年11月7日（水）

4 調査票の種類等

（1）男性票、（2）女性票

平成14年10月末時点で20～34歳であった男女が記入

（3）配偶者票（男性用）、（4）配偶者票（女性用）

① 第1回調査時点に男性票、女性票の配偶者で、年齢が19歳以下、35歳以上であった者が記入

② 第2回調査以降、男性票、女性票の対象者の、新たな配偶者となった者が記入

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得、退職理由等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事と子育ての両立支援制度の状況、配偶者の有無、親との同居の有無、子どもの状況、前年の所得、退職理由等

（3）配偶者票（男性用） …… 仕事の有無、家事・育児時間等

（4）配偶者票（女性用） …… 仕事の有無、就業形態、仕事と子育ての両立支援制度の状況、子どもの状況等

6 調査の方法

（1）調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、密封したものを後日調査員が回収する方法により行った。

（2）第1回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

結果の概要

I 第1回の独身者の結婚の状況

1 この5年間の結婚の状況

第1回の独身者は、この5年間で、男性21.7%、女性27.3%が結婚した。

第1回の独身者のうち、男はこの1年間で5.2%が結婚し、この5年間で結婚したのは21.7%となった。女はこの1年間で5.5%が結婚し、この5年間では27.3%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男25.2%、女34.4%となっている。（表1、図1）

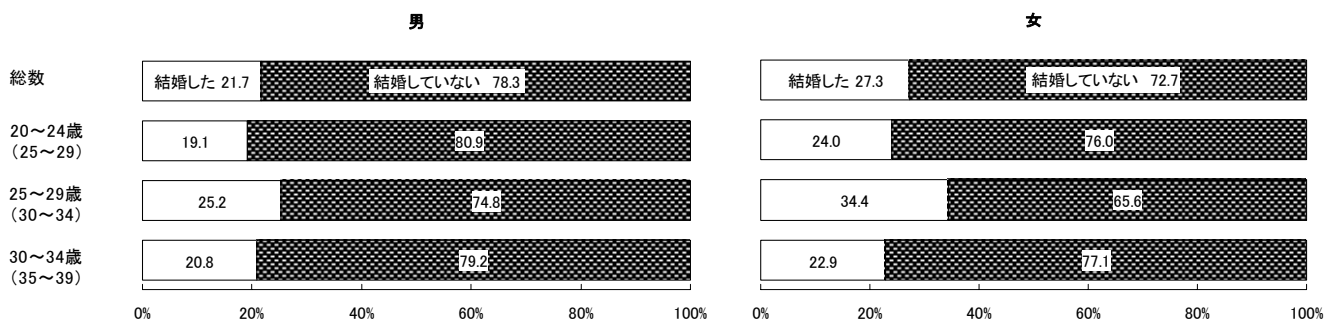
表1 性、年齢階級別にみたこの5年間の結婚の状況

（単位：％）

		第1回配偶者の有無			この5年間の結婚の状況			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した	第5回から第6回間	結婚していない	
第1回の年齢階級	男	(100.0)	100.0	34.7	64.1	13.9	3.3	50.2
	20～24歳(25～29)	(26.8)	100.0	5.0	93.8	17.9	5.5	75.9
	25～29歳(30～34)	(32.9)	100.0	29.0	69.6	17.6	3.6	52.0
	30～34歳(35～39)	(40.3)	100.0	59.1	39.9	8.3	1.7	31.6
()内は第6回	女	(100.0)	100.0	43.5	55.6	15.2	3.0	40.4
	20～24歳(25～29)	(27.6)	100.0	6.6	92.6	22.2	5.8	70.4
	25～29歳(30～34)	(31.3)	100.0	39.5	59.7	20.5	3.4	39.1
	30～34歳(35～39)	(41.1)	100.0	71.3	27.6	6.3	0.9	21.3

- 注：1) 集計対象は、第1回から第6回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 第1回配偶者の有無の総数には、配偶者有無の不詳を含む。
 4) []内は、第1回で配偶者なしであった者を総数とした5年間の結婚の状況である。
 5) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 独身者のこの5年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 年齢は第1回の年齢である。()内は第6回の年齢である。
 4) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

2 親との同居の有無別にみた状況

男女ともに、親と同居している場合よりも親と同居していない場合の方が、結婚した割合が高くなっている。

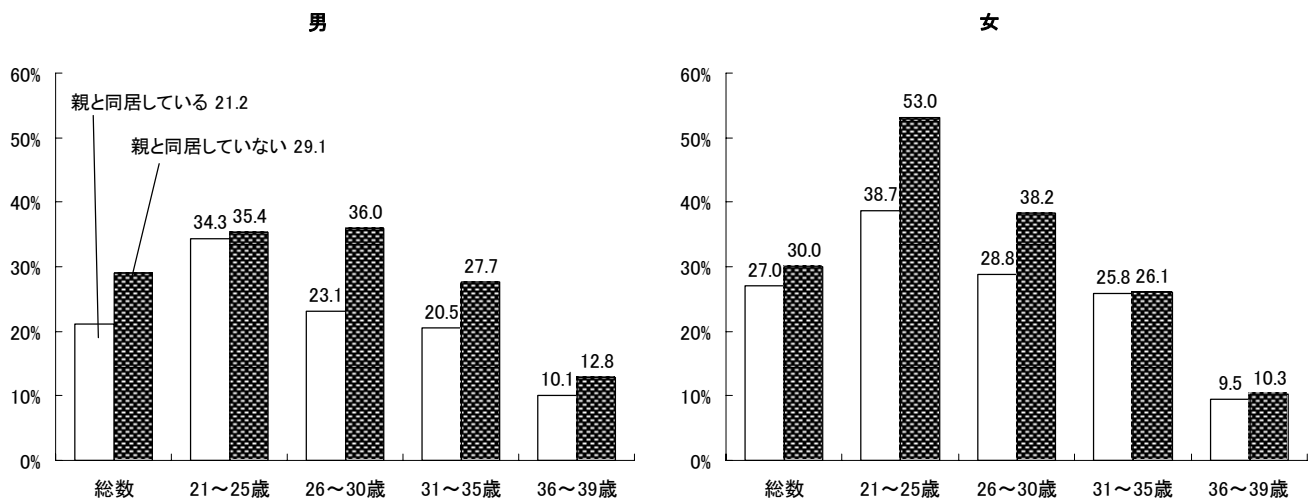
第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の親との同居の有無別に、この5年間の結婚の状況をみた。親と同居していない場合は男29.1%、女30.0%が結婚しており、親と同居している場合には男21.2%、女27.0%が結婚している。（表2、図2）

表2 性、年齢階級、親との同居の有無別にみたこの5年間の結婚の状況

		男				女			
		総数	結婚した	結婚して いない		総数	結婚した	結婚して いない	
親との同居の有無	総数	(100.0)	100.0	21.7	78.3	(100.0)	100.0	27.3	72.7
	親と同居している	(76.2)	100.0	21.2	78.8	(80.6)	100.0	27.0	73.0
	親と同居していない	(14.7)	100.0	29.1	70.9	(14.7)	100.0	30.0	70.0
	21～25歳	(100.0)	100.0	33.3	66.7	(100.0)	100.0	39.4	60.6
	親と同居している	(75.6)	100.0	34.3	65.7	(82.0)	100.0	38.7	61.3
	親と同居していない	(14.5)	100.0	35.4	64.6	(12.4)	100.0	53.0	47.0
	26～30歳	(100.0)	100.0	24.5	75.5	(100.0)	100.0	30.1	69.9
	親と同居している	(76.6)	100.0	23.1	76.9	(84.1)	100.0	28.8	71.2
	親と同居していない	(14.5)	100.0	36.0	64.0	(11.9)	100.0	38.2	61.8
	31～35歳	(100.0)	100.0	20.2	79.8	(100.0)	100.0	25.7	74.3
	親と同居している	(76.6)	100.0	20.5	79.5	(78.8)	100.0	25.8	74.2
	親と同居していない	(14.6)	100.0	27.7	72.3	(15.9)	100.0	26.1	73.9
	36～39歳	(100.0)	100.0	10.9	89.1	(100.0)	100.0	9.5	90.5
	親と同居している	(75.0)	100.0	10.1	89.9	(70.9)	100.0	9.5	90.5
親と同居していない	(15.7)	100.0	12.8	87.2	(24.0)	100.0	10.3	89.7	

- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第6回の年齢である。
 3) 親との同居の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の状況である。
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 7) 総数、各年齢階級の総数には、親との同居の有無不詳を含む。

図2 親との同居の有無別にみたこの5年間に結婚した割合



- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、結婚後の年齢である。
 3) 親との同居の有無は、結婚前の状況である。
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5) この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3 仕事の有無別にみた状況

男性は、仕事が正規の場合 24.0%、非正規の場合 12.1%が、この5年間に結婚した。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の仕事の有無別に、この5年間の結婚の状況をみた。

男は「仕事あり」の23.0%、「仕事なし」の9.0%が結婚した。仕事ありのうち、就業形態の正規・非正規別では、「正規」で24.0%、「非正規」で12.1%と、11.9ポイントの差がある。

また、女の、仕事の有無や就業形態別にみた結婚の状況は、男のような大きな違いはみられない。(表3、図3)

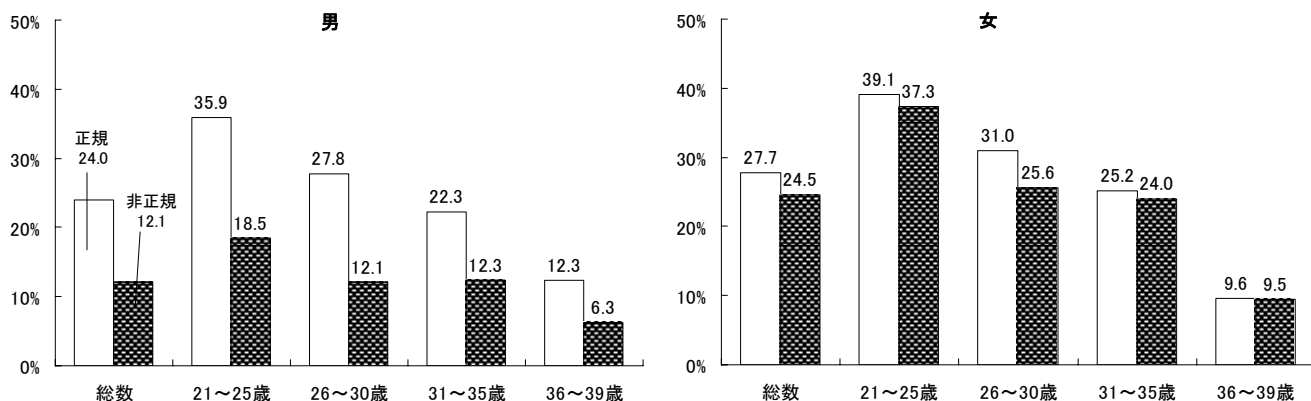
表3 性、年齢階級、仕事の有無別にみたこの5年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
仕事の有無、 (再掲) 正規・非正規	総数	(100.0)	100.0	21.7	78.3	(100.0)	100.0	27.3	72.7
	仕事あり	(89.9)	100.0	23.0	77.0	(89.8)	100.0	27.2	72.8
	(再掲) 正規	(61.6)	100.0	24.0	76.0	(54.1)	100.0	27.7	72.3
	(再掲) 非正規	(16.2)	100.0	12.1	87.9	(30.8)	100.0	24.5	75.5
	仕事なし	(9.9)	100.0	9.0	91.0	(10.0)	100.0	27.6	72.4
	21～25歳	(100.0)	100.0	33.3	66.7	(100.0)	100.0	39.4	60.6
	仕事あり	(84.6)	100.0	35.4	64.6	(90.1)	100.0	38.8	61.3
	(再掲) 正規	(54.8)	100.0	35.9	64.1	(57.0)	100.0	39.1	60.9
	(再掲) 非正規	(18.1)	100.0	18.5	81.5	(30.2)	100.0	37.3	62.7
	仕事なし	(15.0)	100.0	20.9	79.1	(9.6)	100.0	45.1	54.9
	26～30歳	(100.0)	100.0	24.5	75.5	(100.0)	100.0	30.1	69.9
	仕事あり	(90.6)	100.0	25.6	74.4	(89.9)	100.0	29.9	70.1
	(再掲) 正規	(60.1)	100.0	27.8	72.2	(55.2)	100.0	31.0	69.0
	(再掲) 非正規	(19.9)	100.0	12.1	87.9	(30.3)	100.0	25.6	74.4
	仕事なし	(9.3)	100.0	12.1	87.9	(10.0)	100.0	31.0	69.0
	31～35歳	(100.0)	100.0	20.2	79.8	(100.0)	100.0	25.7	74.3
	仕事あり	(91.6)	100.0	21.6	78.4	(89.9)	100.0	25.5	74.5
	(再掲) 正規	(66.0)	100.0	22.3	77.7	(51.3)	100.0	25.2	74.8
	(再掲) 非正規	(12.7)	100.0	12.3	87.7	(32.4)	100.0	24.0	76.0
	仕事なし	(8.3)	100.0	4.3	95.7	(9.9)	100.0	26.5	73.5
36～39歳	(100.0)	100.0	10.9	89.1	(100.0)	100.0	9.5	90.5	
仕事あり	(88.6)	100.0	12.3	87.7	(89.4)	100.0	10.1	89.9	
(再掲) 正規	(61.2)	100.0	12.3	87.7	(53.4)	100.0	9.6	90.4	
(再掲) 非正規	(12.8)	100.0	6.3	93.7	(29.8)	100.0	9.5	90.5	
仕事なし	(11.3)	100.0	-	100.0	(10.4)	100.0	3.4	96.6	

- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第6回の年齢である。
 3) 仕事の有無、就業形態は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の状況である。
 4) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 5) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 6) 総数には、仕事の有無不詳を含む。

図3 就業形態別にみたこの5年間に結婚した割合



- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、結婚後の年齢である。
 3) 就業形態は、結婚前の状況である。
 4) 「結婚した」には、この5年間に結婚した後離婚した者を含む。
 5) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

4 所得額別にみた状況

男女ともに、所得額が高くなるほど、結婚した割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の所得額階級別に、この3年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400～500万円未満」で「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。特に、男では、最も低い「100万円未満」で8.2%、最も高い「400～500万円未満」で20.6%と、12.4ポイントの差がある。(表4、図4)

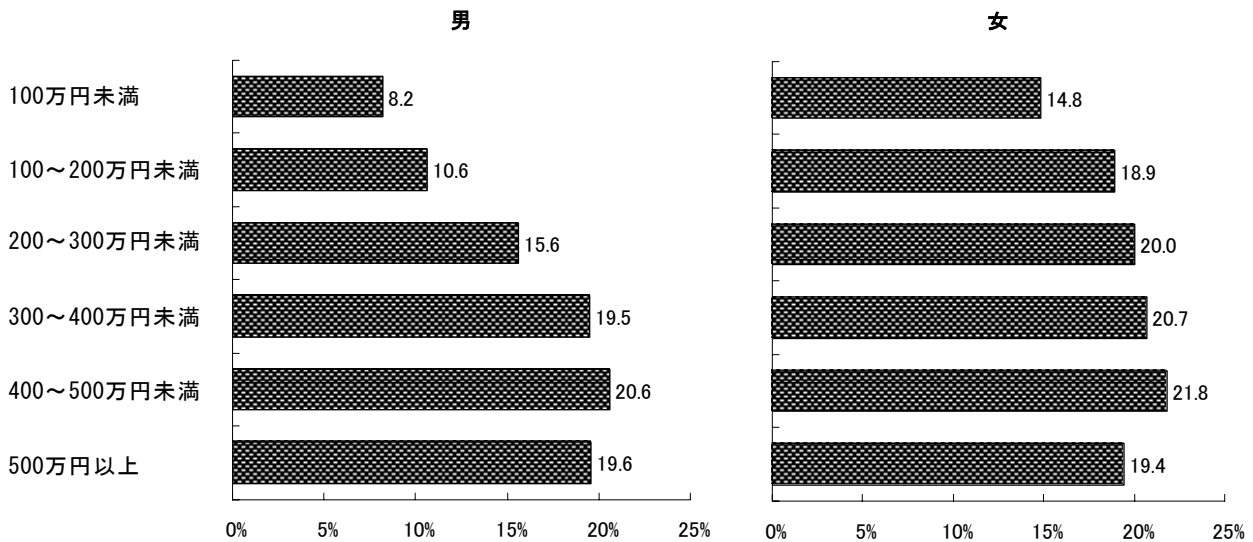
表4 性、所得額階級別にみたこの3年間の結婚の状況

(単位：%)

所得額	総数	男			女			
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない	
総数	(100.0)	100.0	14.7	85.3	(100.0)	100.0	18.6	81.4
100万円未満	(11.4)	100.0	8.2	91.8	(13.0)	100.0	14.8	85.2
100～200万円未満	(10.3)	100.0	10.6	89.4	(22.5)	100.0	18.9	81.1
200～300万円未満	(18.6)	100.0	15.6	84.4	(28.8)	100.0	20.0	80.0
300～400万円未満	(20.8)	100.0	19.5	80.5	(15.9)	100.0	20.7	79.3
400～500万円未満	(11.9)	100.0	20.6	79.4	(6.6)	100.0	21.8	78.2
500万円以上	(8.2)	100.0	19.6	80.4	(3.8)	100.0	19.4	80.6

- 注：1) 集計対象は、第3回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 所得額は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第5回の状況である。
 3) 所得額の「100万円未満」には所得なしを、総数には所得額不詳を含む。
 4) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図4 所得額階級別にみたこの3年間に結婚した割合



- 注：1) 集計対象は、第3回独身で第6回まで回答を得られている者である。
 ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 所得額は、結婚前の状況である。
 3) 所得額の「100万円未満」には所得なしを含む。
 4) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

II 夫婦における子どもの出生の状況

1 この5年間の出生の状況

この5年間に、第1回からの夫婦の36.1%、第2回からの夫婦の73.3%、第3回からの夫婦の68.3%、第4回からの夫婦の62.4%、第5回からの夫婦の32.2%に子どもが生まれた。

この1年間に、第1回からの夫婦の4.9%、第2回からの夫婦の19.9%、第3回からの夫婦の26.2%、第4回からの夫婦の26.8%、第5回からの夫婦の32.2%に子どもが生まれ、この5年間では、それぞれ36.1%、73.3%、68.3%、62.4%、32.2%の夫婦に1人以上の子どもが生まれた。(表5、図5)

表5 妻の年齢階級別にみたこの5年間の出生の状況

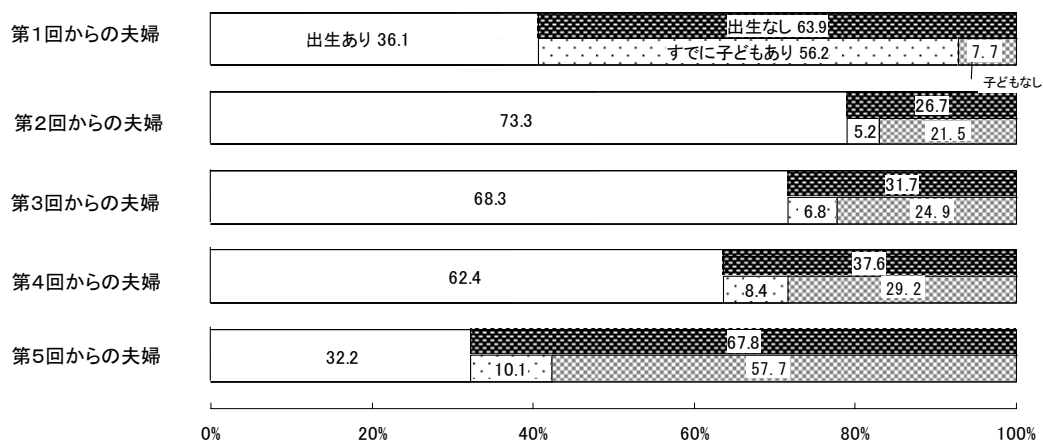
		(単位：%)										
		総数	この5年間に出生あり							この5年間に出生なし		
			総数	第5回から第6回間に出生				総数	すでに子どもあり	子どもなし		
				総数	第1子	第2子	第3子以降					
第6回の妻の年齢階級	第1回からの夫婦	(100.0)	100.0	36.1	4.9	0.8	2.0	2.1	63.9	56.2	7.7	
	21～25歳	(0.1)	100.0	66.7	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	
	26～30歳	(5.8)	100.0	64.9	10.1	1.8	5.4	3.0	35.1	26.8	8.3	
	31～35歳	(36.2)	100.0	50.7	7.7	0.9	3.3	3.4	49.3	41.7	7.7	
	36歳以上	(58.0)	100.0	24.1	2.5	0.5	0.8	1.2	75.9	68.2	7.7	
	第2回からの夫婦	(100.0)	100.0	73.3	19.9	2.6	15.7	1.6	26.7	5.2	21.5	
	21～25歳	(0.5)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	26～30歳	(33.5)	100.0	81.3	12.5	3.1	9.4	-	18.8	6.3	12.5	
	31～35歳	(46.1)	100.0	71.6	26.1	2.3	20.5	3.4	28.4	4.5	23.9	
	36歳以上	(19.9)	100.0	63.2	18.4	2.6	15.8	-	36.8	5.3	31.6	
	第3回からの夫婦	(100.0)	100.0	68.3	26.2	11.3	14.5	0.5	31.7	6.8	24.9	
	21～25歳	(5.0)	100.0	54.5	36.4	-	36.4	-	45.5	27.3	18.2	
	26～30歳	(39.8)	100.0	72.7	27.3	11.4	15.9	-	27.3	5.7	21.6	
	31～35歳	(41.6)	100.0	68.5	23.9	13.0	10.9	-	31.5	4.3	27.2	
	36歳以上	(13.6)	100.0	60.0	26.7	10.0	13.3	3.3	40.0	10.0	30.0	
	第4回からの夫婦	(100.0)	100.0	62.4	26.8	19.2	6.8	0.8	37.6	8.4	29.2	
	21～25歳	(4.8)	100.0	75.0	25.0	25.0	-	-	25.0	16.7	8.3	
	26～30歳	(47.2)	100.0	64.4	26.3	20.3	5.9	-	35.6	7.6	28.0	
	31～35歳	(35.2)	100.0	60.2	29.5	19.3	10.2	-	39.8	6.8	33.0	
	36歳以上	(12.8)	100.0	56.3	21.9	12.5	3.1	6.3	43.8	12.5	31.3	
第5回からの夫婦	(100.0)	100.0	32.2	32.2	30.8	1.4	-	67.8	10.1	57.7		
21～25歳	(8.2)	100.0	35.3	35.3	35.3	-	-	64.7	11.8	52.9		
26～30歳	(46.2)	100.0	37.5	37.5	37.5	-	-	62.5	11.5	51.0		
31～35歳	(35.6)	100.0	28.4	28.4	27.0	1.4	-	71.6	9.5	62.2		
36歳以上	(10.1)	100.0	19.0	19.0	9.5	9.5	-	81.0	4.8	76.2		

注：集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

図5 この5年間の出生の状況



注：集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

2 妻の仕事の有無別にみた状況

子どもがいなかった夫婦は、妻の仕事が正規の場合 49.0%に第1子が生まれている。

夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の妻の仕事の有無別に、この5年間の出生の状況をみた。

「仕事あり」で就業形態が「正規」の場合 43.0%、「非正規」の場合 22.4%、「仕事なし」の場合 47.6%に子どもが生まれている。また、子ども数にかかわらず、「非正規」の場合に子どもが生まれている割合が低い。(表6、図6)

表6 妻の仕事の有無別にみたこの5年間の出生の状況

		総数				子どもなし			1人			2人以上		
		総数	出生あり	出生なし	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし
（妻の再掲） 妻の 夫の 有無 ・ 正規 ・ 非正規	総数	(100.0)	100.0	37.1	62.9	100.0	43.9	56.1	100.0	59.7	40.3	100.0	18.5	81.5
	仕事あり	(61.6)	100.0	30.6	69.4	100.0	43.0	57.0	100.0	51.7	48.3	100.0	12.7	87.3
	（再掲）正規	(20.2)	100.0	43.0	57.0	100.0	49.0	51.0	100.0	65.6	34.4	100.0	18.1	81.9
	（再掲）非正規	(33.2)	100.0	22.4	77.6	100.0	35.6	64.4	100.0	39.0	61.0	100.0	9.6	90.4
	仕事なし	(38.1)	100.0	47.6	52.4	100.0	46.6	53.4	100.0	67.2	32.8	100.0	28.9	71.1
	（再掲）夫・正規	(76.8)	100.0	37.5	62.5	100.0	43.0	57.0	100.0	61.7	38.3	100.0	17.9	82.1
	（再掲）夫・非正規	(3.8)	100.0	41.4	58.6	100.0	57.8	42.2	100.0	43.6	56.4	100.0	24.5	75.5

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

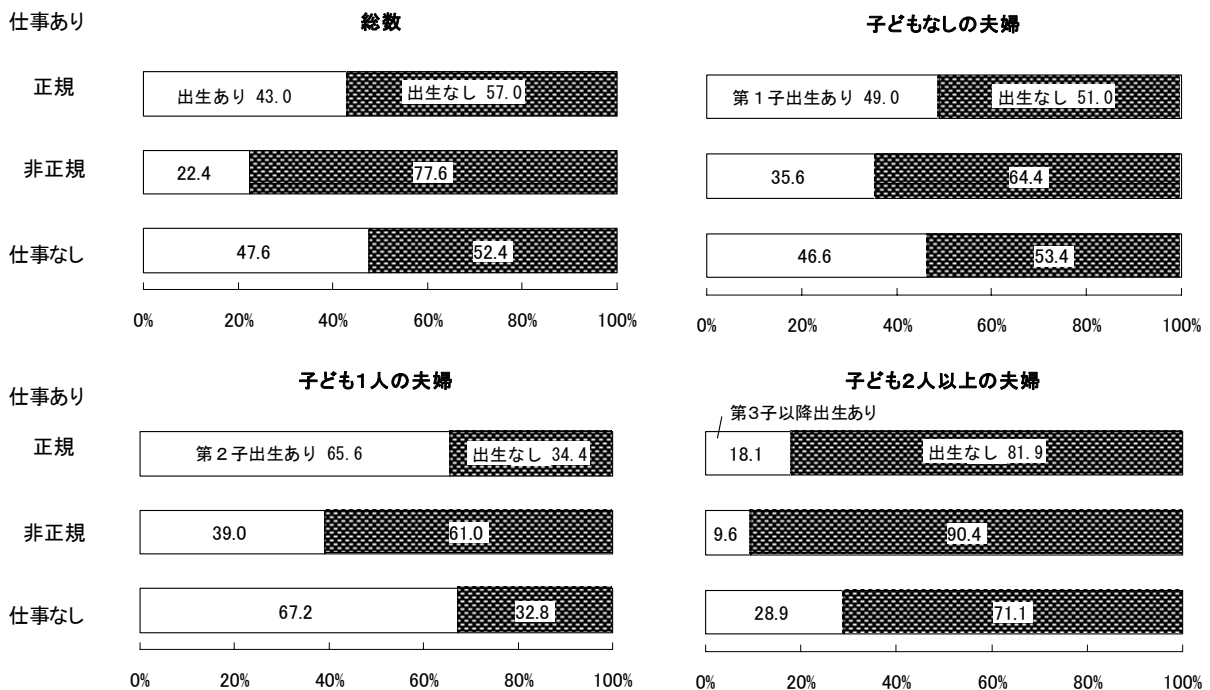
2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

4) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、仕事の有無不詳を含む。

図6 妻の仕事の有無別にみたこの5年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

4) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3 妻の職場における育児休業制度の有無別にみた状況

子どもが1人いる夫婦では、育児休業制度を利用しやすい雰囲気がある場合の64.7%に第2子が生まれている。

夫婦のうち、「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第5回に妻が会社等に勤めていた夫婦について、育児休業制度の有無別に、この4年間の出生の状況をみた。

妻の職場に、育児休業の「制度あり」で34.2%、「制度なし」では18.8%に子どもが生まれており、子どもが1人いる夫婦に第2子が生まれたのは、「制度あり」のうち、「利用しやすい雰囲気がある」で64.7%、「利用しにくい雰囲気がある」で52.0%、「制度なし」では28.3%となっている。(表7、図7)

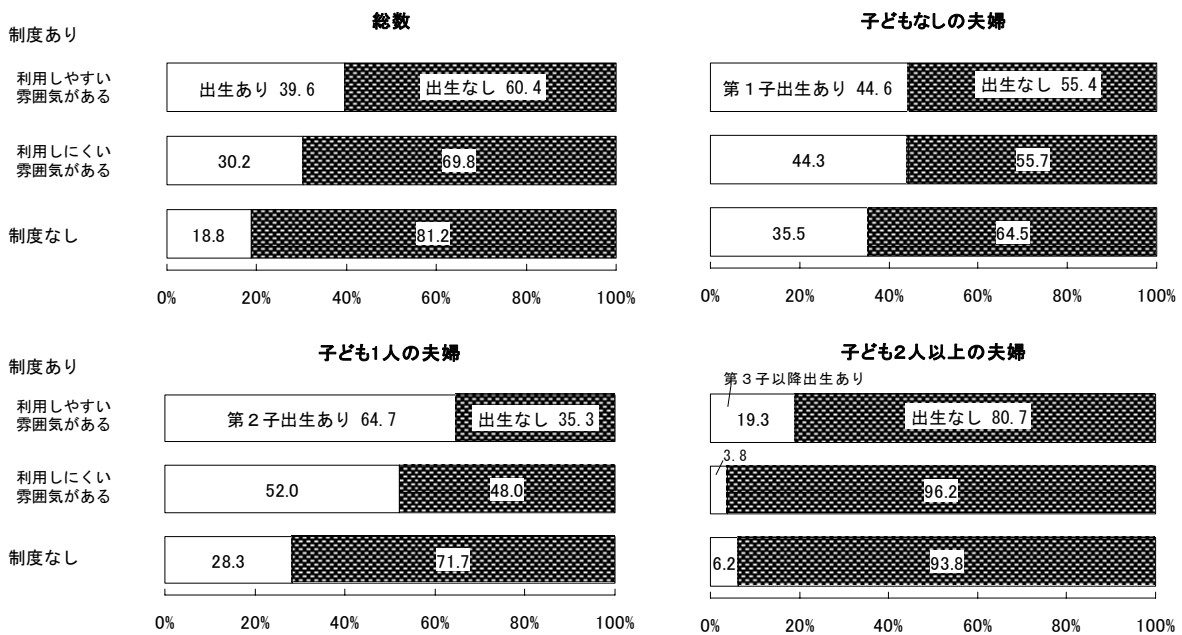
表7 妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別にみたこの4年間の出生の状況

(単位：%)

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	26.0	74.0	100.0	38.8	61.2	100.0	43.3	56.7	100.0	9.9	90.1
	制度あり	(39.3)	100.0	34.2	65.8	100.0	42.0	58.0	100.0	57.5	42.5	100.0	14.1	85.9
	利用しやすい雰囲気がある	(19.2)	100.0	39.6	60.4	100.0	44.6	55.4	100.0	64.7	35.3	100.0	19.3	80.7
	利用しにくい雰囲気がある	(7.8)	100.0	30.2	69.8	100.0	44.3	55.7	100.0	52.0	48.0	100.0	3.8	96.2
	どちらともいえない	(10.6)	100.0	27.5	72.5	100.0	32.3	67.7	100.0	45.8	54.2	100.0	12.7	87.3
	制度なし	(35.0)	100.0	18.8	81.2	100.0	35.5	64.5	100.0	28.3	71.7	100.0	6.2	93.8
	制度があるかないかわからない	(23.8)	100.0	22.5	77.5	100.0	36.4	63.6	100.0	38.0	62.0	100.0	9.1	90.9

- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第5回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 2) 育児休業制度の有無は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5) 総数には、育児休業制度の有無不詳を含む。

図7 妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別にみたこの4年間の出生の状況



- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第5回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 2) 育児休業制度の有無は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。

夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の夫の休日の家事・育児時間別に、この5年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で35.5%、「8時間以上」で71.3%に第2子が生まれている。また、子どもがいる夫婦全体でみると、「家事・育児時間なし」で16.3%、「8時間以上」で46.2%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなる傾向がある。(表8、図8)

表8 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの5年間の出生の状況

(単位：%)

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の休日の家事・育児時間	総数	(100.0)	100.0	37.5	62.5	100.0	44.1	55.9	100.0	60.3	39.7	100.0	18.8	81.2
	家事・育児時間なし	(7.9)	100.0	33.7	66.3	100.0	41.8	58.2	100.0	35.5	64.5	100.0	5.5	94.5
	2時間未満	(27.5)	100.0	34.1	65.9	100.0	45.7	54.3	100.0	42.3	57.7	100.0	10.8	89.2
	2～4時間未満	(20.3)	100.0	34.1	65.9	100.0	41.8	58.2	100.0	58.8	41.2	100.0	16.6	83.4
	4～6時間未満	(14.7)	100.0	38.7	61.3	100.0	41.7	58.3	100.0	63.5	36.5	100.0	22.3	77.7
	6～8時間未満	(6.6)	100.0	37.5	62.5	100.0	37.5	62.5	100.0	60.6	39.4	100.0	17.9	82.1
	8時間以上	(19.5)	100.0	46.5	53.5	100.0	100.0	-	100.0	71.3	28.7	100.0	27.6	72.4

注:1)集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

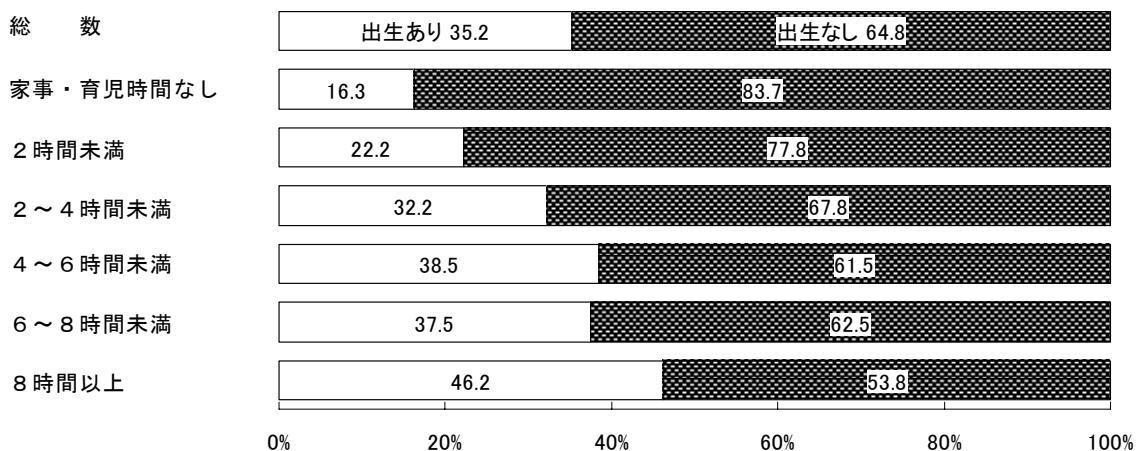
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

3)「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

4)5年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

5)総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図8 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの5年間の第2子以降の出生の状況



注:1)集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

3)5年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

4)総数には、家事・育児時間不詳を含む。

5 夫婦の合計所得額別にみた状況

合計所得額が「400～500万円未満」で子どもがいない夫婦では、40.0%に第1子が生まれている。夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第6回の夫婦の合計所得額階級別に、この4年間の出生の状況をみた。

夫婦の合計所得額の分布が最も多い「400～500万円未満」の夫婦について、「出生あり」の割合を出生順位別にみると、子どもがいない夫婦の40.0%、子どもが1人いる夫婦の50.9%に子どもが生まれている。(表9)

表9 夫婦の合計所得額階級別にみたこの4年間の出生の状況

(単位：%)

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫婦の合計所得額	総数	(100.0)	100.0	30.8	69.2	100.0	41.0	59.0	100.0	51.5	48.5	100.0	14.4	85.6
	100万円未満	(2.0)	100.0	47.0	53.0	100.0	64.7	35.3	100.0	56.5	43.5	100.0	26.9	73.1
	100～200万円未満	(1.7)	100.0	43.9	56.1	100.0	61.1	38.9	100.0	42.1	57.9	100.0	30.0	70.0
	200～300万円未満	(4.6)	100.0	45.0	55.0	100.0	57.1	42.9	100.0	60.3	39.7	100.0	23.3	76.7
	300～400万円未満	(14.0)	100.0	34.1	65.9	100.0	45.9	54.1	100.0	53.0	47.0	100.0	15.2	84.8
	400～500万円未満	(18.1)	100.0	30.7	69.3	100.0	40.0	60.0	100.0	50.9	49.1	100.0	14.8	85.2
	500～600万円未満	(17.3)	100.0	29.3	70.7	100.0	41.3	58.7	100.0	50.7	49.3	100.0	14.1	85.9
	600～700万円未満	(12.3)	100.0	27.4	72.6	100.0	43.3	56.7	100.0	39.5	60.5	100.0	12.2	87.8
	700～800万円未満	(7.6)	100.0	22.2	77.8	100.0	35.4	64.6	100.0	39.4	60.6	100.0	10.3	89.7
	800～900万円未満	(6.2)	100.0	30.5	69.5	100.0	42.5	57.5	100.0	53.7	46.3	100.0	10.1	89.9
	900～1,000万円未満	(3.4)	100.0	23.6	76.4	100.0	30.0	70.0	100.0	39.1	60.9	100.0	10.6	89.4
1,000万円以上	(6.0)	100.0	23.5	76.5	100.0	22.9	77.1	100.0	52.9	47.1	100.0	13.0	87.0	

注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、平成16年以前の出産で、「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

① 第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦

② 第1回に独身で、第5回までに結婚し、第6回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 所得額は、夫婦の総所得額であり、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第6回の状況である。

3) 所得額の「100万円未満」には所得なしを、総数には所得額不詳を含む。

4) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。

5) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

Ⅲ 就業の状況

1 就業の変化

第1回に正規の仕事をしている者の、男性84.7%、女性64.8%が第6回も正規の仕事をしている。

第1回から第6回まで回答を得られている男女について、第1回の仕事の有無別に、第6回の仕事の有無をみた。

第1回が「仕事あり」の場合、男の96.9%、女の80.6%は第6回も「仕事あり」となっている。また、第1回が「仕事なし」の場合、男の25.1%、女の49.0%は第6回も「仕事なし」となっている。

第1回が「仕事あり」の者について、就業形態の正規・非正規別でみると、「正規」であった場合、男の84.7%、女の64.8%が、第6回も「正規」となっている。「非正規」であった場合では、男の46.4%が「正規」、女の55.6%は「非正規」となっている。(表10)

表10 性、第1回の仕事の有無別にみた第6回の仕事の有無

(単位：%)

		第6回の仕事の有無、(再掲) 正規・非正規									
		総数	仕事あり	(再掲)		仕事ありだが休業中	仕事なし	家事に従事している	通学している	その他	
				正規	非正規						
第1回の仕事の有無、 (再掲) 正規・非正規	男	(100.0)	100.0	93.6	66.1	10.8	0.2	6.1	0.7	0.6	3.8
	仕事あり	(85.5)	100.0	96.9	70.1	9.4	0.2	2.9	0.2	0.2	1.9
	(再掲) 正規	(56.6)	100.0	98.0	84.7	4.4	0.2	1.7	0.1	0.1	1.3
	(再掲) 非正規	(13.0)	100.0	91.6	46.4	34.5	0.3	8.1	0.8	0.9	4.9
	仕事ありだが休業中	(0.3)	100.0	90.0	30.0	25.0	-	10.0	-	-	10.0
	仕事なし	(11.3)	100.0	74.3	42.8	19.8	0.5	25.1	3.9	2.7	15.7
	家事に従事している	(0.4)	100.0	41.7	-	20.8	-	54.2	33.3	-	20.8
	通学している	(3.8)	100.0	83.7	59.1	17.5	1.2	15.2	0.4	7.0	6.6
	その他	(3.9)	100.0	55.2	27.2	19.0	0.4	44.4	6.7	1.1	31.7
	女	(100.0)	100.0	70.6	32.0	31.7	2.0	27.2	23.2	0.5	2.7
仕事あり	(65.7)	100.0	80.6	41.9	31.7	2.4	16.9	13.6	0.5	2.1	
(再掲) 正規	(32.7)	100.0	79.4	64.8	14.0	4.0	16.5	14.1	0.3	1.4	
(再掲) 非正規	(26.5)	100.0	79.8	19.2	55.6	1.0	19.1	14.3	0.7	3.2	
仕事ありだが休業中	(1.3)	100.0	70.6	52.0	21.6	10.8	18.6	16.7	-	1.0	
仕事なし	(31.3)	100.0	50.0	10.4	32.2	0.8	49.0	43.6	0.4	4.0	
家事に従事している	(21.4)	100.0	41.8	3.2	31.4	0.3	57.7	55.1	0.1	1.7	
通学している	(3.1)	100.0	79.8	50.0	24.4	2.5	17.6	11.3	1.7	4.6	
その他	(2.5)	100.0	51.9	12.2	31.7	0.5	47.6	20.1	2.6	21.7	

注：1) 集計対象は、第1回から第6回まで回答を得られている者である。

2) 男、女には、仕事の有無不詳を含む。

2 結婚の状況別にみた就業状況の変化

女性は46.6%が結婚後も同一就業を継続し、28.4%が離職している。男性は76.6%が結婚後も同一就業を継続している。

第1回の独身者について、この5年間の結婚の状況別に、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」はこの1年間の就業状況の変化をみた。

結婚した場合の「同一就業継続」は、男76.6%、女46.6%、「離職」は、男1.2%、女28.4%、結婚していない場合の「同一就業継続」は、男73.5%、女73.0%、「離職」は、男2.8%、女4.4%となっている。(表11、図9)

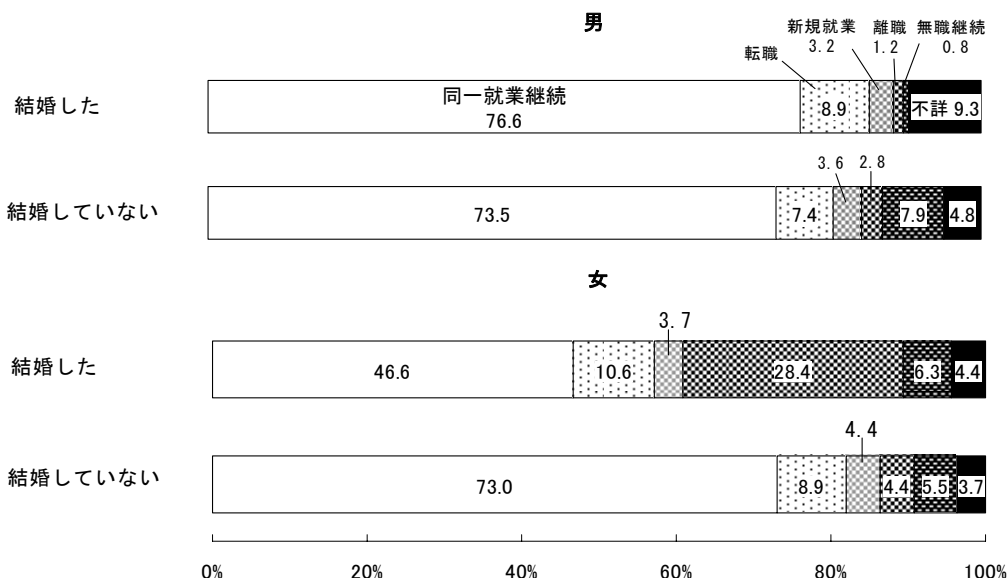
表11 性、この5年間の結婚の状況、年齢階級別にみた就業状況の変化

(単位：%)

		総数	同一就業 継続	(再掲)		転職	(再掲)		新規 就業	離職	無職 継続	不詳	
				正規	非正規		正規から 非正規	非正規 から正規					
男	結婚した	(100.0)	100.0	76.6	62.4	5.2	8.9	0.6	1.9	3.2	1.2	0.8	9.3
	21～25歳	(15.6)	100.0	61.5	49.3	4.7	11.5	-	1.4	8.1	3.4	1.4	14.2
	26～30歳	(45.9)	100.0	74.8	61.9	5.3	10.1	0.9	2.8	3.7	0.5	0.9	10.1
	31～35歳	(30.0)	100.0	84.6	68.4	5.3	7.0	0.7	1.1	0.7	1.1	0.7	6.0
	36～39歳	(8.5)	100.0	86.4	67.9	4.9	4.9	-	1.2	-	1.2	-	7.4
	結婚していない	(100.0)	100.0	73.5	53.2	12.4	7.4	1.0	1.8	3.6	2.8	7.9	4.8
	25歳	(8.7)	100.0	66.4	47.7	13.8	8.7	1.0	4.0	9.4	2.7	8.4	4.4
	26～30歳	(39.2)	100.0	71.2	50.3	14.9	9.6	0.8	2.9	3.3	3.3	7.5	5.1
	31～35歳	(32.8)	100.0	76.9	57.9	10.2	6.3	1.2	1.0	3.2	2.4	6.7	4.5
	36～39歳	(19.3)	100.0	75.7	53.8	10.4	4.2	1.1	0.2	2.3	2.4	10.4	5.0
女	結婚した	(100.0)	100.0	46.6	33.5	11.1	10.6	3.1	1.0	3.7	28.4	6.3	4.4
	21～25歳	(18.2)	100.0	40.5	31.4	9.0	11.4	3.3	1.0	2.9	35.2	8.1	1.9
	26～30歳	(51.0)	100.0	46.7	35.7	8.5	10.4	3.2	1.0	3.9	27.8	6.3	4.9
	31～35歳	(26.2)	100.0	49.2	31.0	15.2	11.2	3.0	1.3	4.6	25.1	5.6	4.3
	36～39歳	(4.7)	100.0	55.6	31.5	24.1	5.6	1.9	-	-	25.9	3.7	9.3
	結婚していない	(100.0)	100.0	73.0	46.9	23.4	8.9	1.6	1.2	4.4	4.4	5.5	3.7
	25歳	(10.5)	100.0	69.3	47.7	20.4	10.8	2.5	2.5	5.6	6.2	3.1	5.0
	26～30歳	(44.5)	100.0	72.4	47.2	23.2	9.5	1.7	1.5	4.8	5.0	5.1	3.1
	31～35歳	(28.5)	100.0	74.9	46.0	25.3	8.3	1.6	0.7	3.5	2.7	6.3	4.2
	36～39歳	(16.6)	100.0	73.7	47.4	22.4	6.8	0.6	0.6	4.3	4.7	6.8	3.7

注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第6回の年齢である。
 3) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第5回から第6回にかけての就業状況の変化である。
 4) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図9 この5年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化



注：1) 集計対象は、第1回独身で第6回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第5回から第6回にかけての就業状況の変化である。
 3) 5年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3 仕事をしてきた女性の結婚後の就業継続の有無

女性は、仕事が正規の場合 60.1%、非正規の場合 40.3%が結婚後も同一就業を継続している。

表 1 1 のうち、この 5 年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について、結婚後の就業継続の有無をみると、「同一就業継続」は 52.1%、「転職」は 11.8%、「離職」は 31.7%となっている。

また、就業形態別にみると、「正規」では 60.1%が「同一就業継続」となっている。「非正規」では「同一就業継続」及び「離職」が 40.3%となっているが、21～25 歳では、約半数が離職している。(表 1 2、図 1 0)

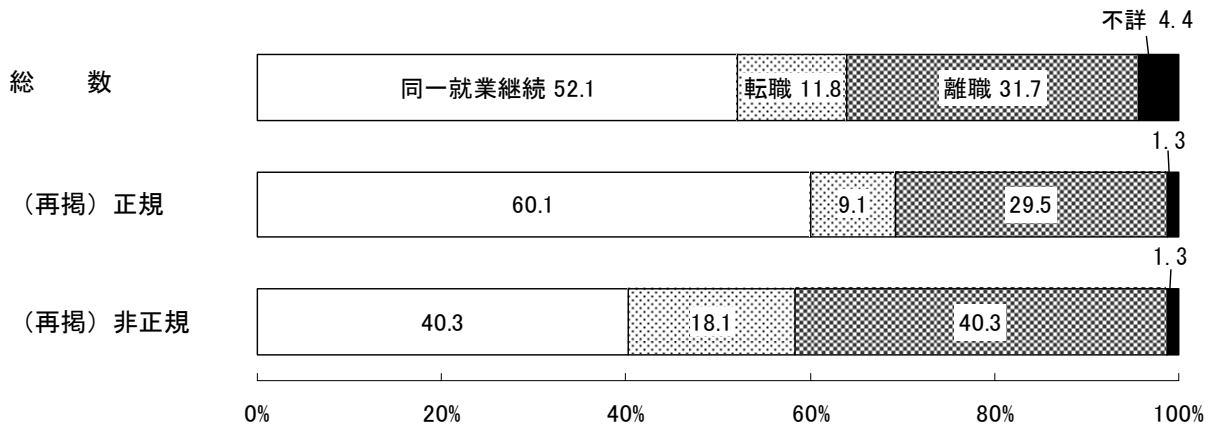
表 1 2 年齢階級別にみた結婚した女性の就業継続の有無

(単位：%)

	総数	同一就業継続	転職		離職	不詳			
			総数	(再掲) 正規へ			(再掲) 非正規へ		
結婚後(再掲)の年齢	総数	(100.0)	100.0	52.1	11.8	2.7	8.0	31.7	4.4
	21～25歳	(18.0)	100.0	45.7	12.9	3.8	8.1	39.8	1.6
	26～30歳	(50.9)	100.0	52.2	11.6	2.3	8.2	31.1	5.1
	31～35歳	(26.2)	100.0	55.0	12.5	3.3	8.5	28.0	4.4
	36～39歳	(4.9)	100.0	58.8	5.9	-	3.9	27.5	7.8
結婚前の正規・非正規	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	60.1	9.1	2.0	5.7	29.5	1.3
	21～25歳	(18.7)	100.0	53.8	11.8	4.2	5.9	34.5	-
	26～30歳	(52.7)	100.0	62.2	8.3	1.2	5.7	27.7	1.8
	31～35歳	(24.0)	100.0	60.8	9.2	2.6	5.9	28.8	1.3
	36～39歳	(4.6)	100.0	58.6	6.9	-	3.4	34.5	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	40.3	18.1	3.8	14.1	40.3	1.3
	21～25歳	(18.8)	100.0	31.7	16.7	3.3	13.3	51.7	-
	26～30歳	(47.5)	100.0	33.6	19.7	3.9	15.1	44.7	2.0
	31～35歳	(28.8)	100.0	50.0	19.6	4.3	15.2	29.3	1.1
	36～39歳	(5.0)	100.0	81.3	-	-	-	18.8	-

注：1) 集計対象は、第 1 回独身で第 6 回まで回答を得られ、この 5 年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。
ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
2) 5 年間で 2 回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図 1 0 結婚した女性の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第 1 回独身で第 6 回まで回答を得られ、この 5 年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。
ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
2) 5 年間で 2 回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
3) 「正規」「非正規」は、結婚前の状況である。

4 仕事をしてきた妻の就業継続の有無

(1) 出生の有無、出生順位、就業形態別にみた状況

仕事をしてきた妻は、仕事が正規の場合 67.3%、非正規の場合 22.9%が出産後も同一就業を継続している。

夫婦のうち、「出生あり」は出産前に、「出生なし」は第5回に仕事をしてきた妻について、この5年間の出生の状況別に、出産後の就業継続の有無をみた。

出産後において「同一就業継続」であった割合は、「出生あり」では 46.3%となっていて、出生順位別にみると、「第1子」では 36.5%、「第2子」では 56.6%、「第3子以降」では 43.0%となっている。

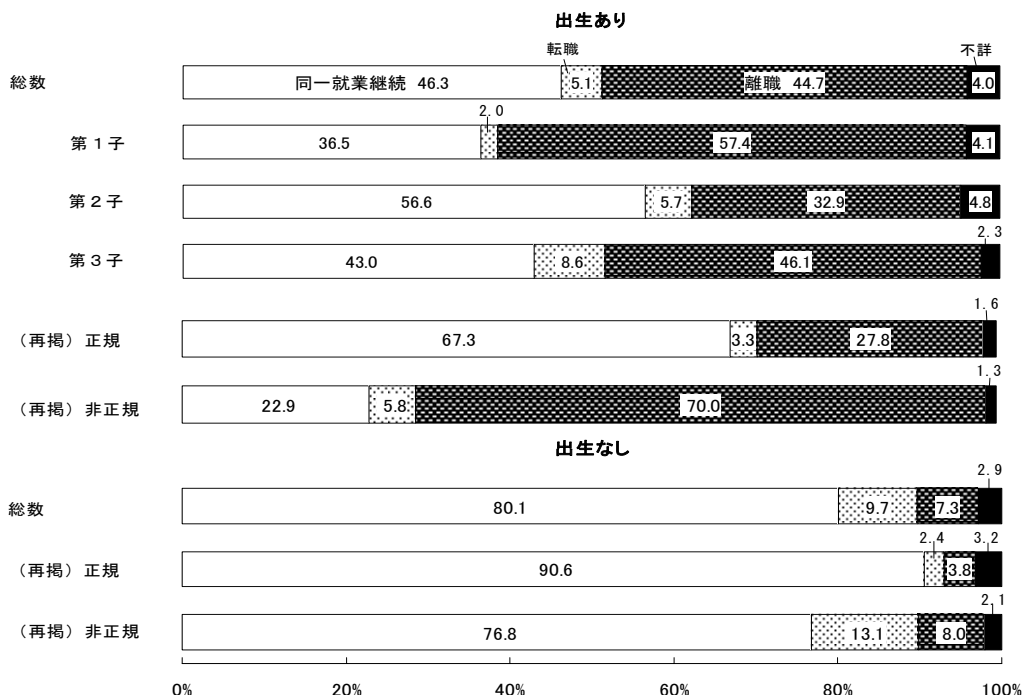
また、就業形態別にみると、「出生あり」の「正規」では 67.3%、「非正規」では 22.9%、「出生なし」の「正規」では 90.6%、「非正規」では 76.8%が「同一就業継続」となっている。(表13、図11)

表13 出生の有無、出生順位、就業形態別にみた妻の就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出生の有無 (再掲) 正規・非正規 出生順位	出生あり	(100.0)	100.0	46.3	5.1	44.7	4.0
	第1子	(35.6)	100.0	36.5	2.0	57.4	4.1
	第2子	(41.2)	100.0	56.6	5.7	32.9	4.8
	第3子以降	(23.1)	100.0	43.0	8.6	46.1	2.3
	(再掲) 正規	(44.3)	100.0	67.3	3.3	27.8	1.6
	(再掲) 非正規	(40.3)	100.0	22.9	5.8	70.0	1.3
	出生なし	(100.0)	100.0	80.1	9.7	7.3	2.9
	(再掲) 正規	(25.4)	100.0	90.6	2.4	3.8	3.2
	(再掲) 非正規	(60.7)	100.0	76.8	13.1	8.0	2.1

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出産前に、「出生なし」は第5回に妻が仕事ありであった夫婦
 2) 「正規」「非正規」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 3) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図11 出生の有無、出生順位、就業形態別にみた妻の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出産前に、「出生なし」は第5回に妻が仕事ありであった夫婦
 2) 「正規」「非正規」は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第5回の状況である。
 3) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(2) 妻の職場における育児休業制度の有無別にみた状況

仕事が正規で育児休業制度を利用しやすい雰囲気がある場合 81.6%が出産後も同一就業を継続している。

夫婦のうち、出産前に妻が会社等に勤めていて、この4年間に子どもが生まれた夫婦（表7において「出生あり」であった夫婦）について、育児休業制度の有無別に、出産後における妻の就業継続の有無をみた。

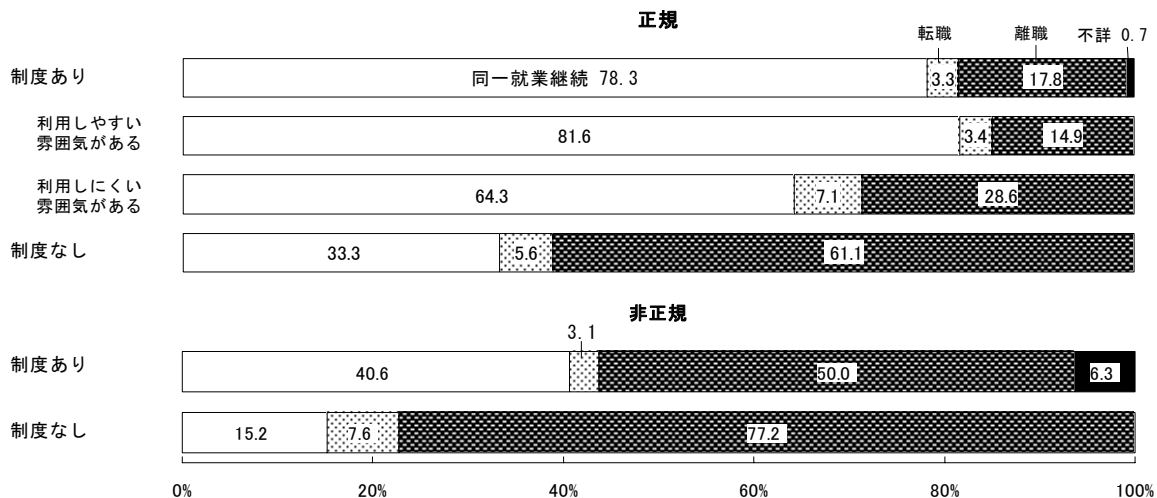
「同一就業継続」の割合を就業形態別にみると、「正規」で「制度あり」では78.3%、「非正規」で「制度あり」では40.6%となっている。また、「正規」で「制度あり」のうち「利用しやすい雰囲気がある」では81.6%、「利用しにくい雰囲気がある」では64.3%、「利用しにくい雰囲気がある」では64.3%となっている。（表14、図12）

表14 妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出産前 の妻の 就業 形態 で 利用 可能 な 正規 ・ 非 正規	総数	(100.0)	100.0	46.4	4.9	47.5	1.1
	制度あり	(50.3)	100.0	71.7	3.3	23.4	1.6
	利用しやすい雰囲気がある	(27.9)	100.0	75.5	3.9	20.6	-
	利用しにくい雰囲気がある	(9.3)	100.0	64.7	5.9	29.4	-
	どちらともいえない	(10.9)	100.0	65.0	-	27.5	7.5
	制度なし	(26.5)	100.0	18.6	7.2	74.2	-
	制度があるかないかわからない	(20.2)	100.0	24.3	4.1	70.3	1.4
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	68.6	3.7	26.7	1.0
	制度あり	(79.6)	100.0	78.3	3.3	17.8	0.7
	利用しやすい雰囲気がある	(45.5)	100.0	81.6	3.4	14.9	-
	利用しにくい雰囲気がある	(14.7)	100.0	64.3	7.1	28.6	-
	どちらともいえない	(16.8)	100.0	78.1	-	18.8	3.1
	制度なし	(9.4)	100.0	33.3	5.6	61.1	-
制度があるかないかわからない	(9.4)	100.0	33.3	-	61.1	5.6	
(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	22.3	6.3	70.3	1.1	
制度あり	(18.3)	100.0	40.6	3.1	50.0	6.3	
利用しやすい雰囲気がある	(8.6)	100.0	40.0	6.7	53.3	-	
利用しにくい雰囲気がある	(3.4)	100.0	66.7	-	33.3	-	
どちらともいえない	(4.6)	100.0	12.5	-	62.5	25.0	
制度なし	(45.1)	100.0	15.2	7.6	77.2	-	
制度があるかないかわからない	(32.0)	100.0	21.4	5.4	73.2	-	

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
 2) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。
 3) 総数には、育児休業制度の有無不詳を含む。

図12 妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
 2) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。

(3) 夫の平日の家事・育児時間別にみた状況

出産後の夫の平日の家事・育児時間が長いほど、妻が出産後も同一就業を継続する割合が高くなり、離職する割合が低くなる傾向がある。

夫婦のうち、この5年間に子どもが生まれ、出産前に妻が仕事をしてきた夫婦について、出産後の夫の平日の家事・育児時間別に、妻の出産後における「同一就業継続」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で39.1%、「4時間以上」で66.7%となっている。また、「離職」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で54.3%、「4時間以上」で28.1%と、夫の家事・育児時間が長いほど低くなる傾向がある。(表15、図13)

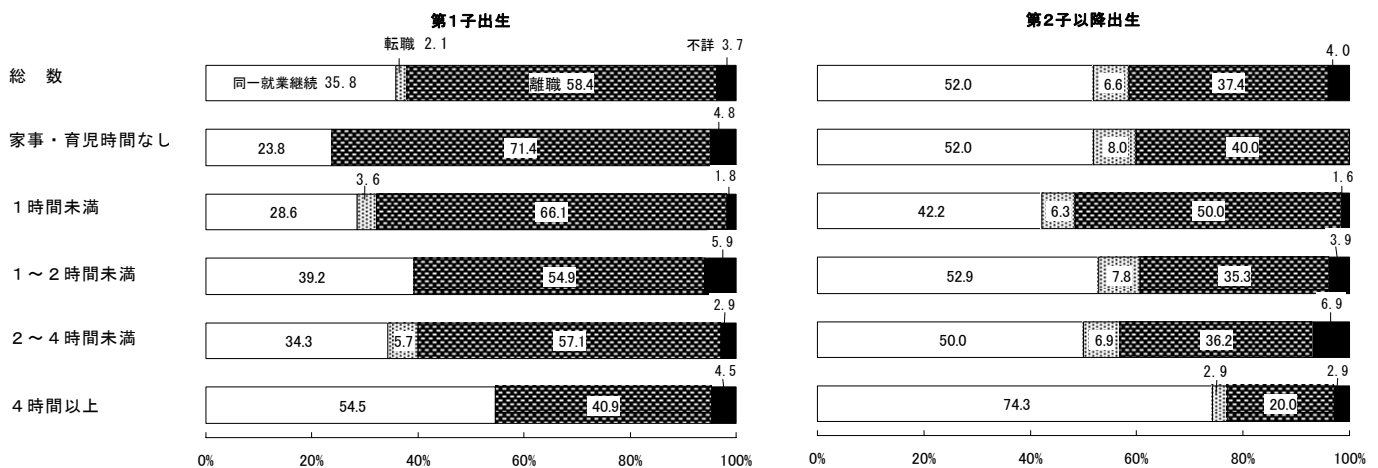
表15 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出生順位、 出産後の夫の平日の家事・育児時間	総数	(100.0)	100.0	46.3	5.0	44.8	3.9
	家事・育児時間なし	(8.5)	100.0	39.1	4.3	54.3	2.2
	1時間未満	(22.2)	100.0	35.8	5.0	57.5	1.7
	1～2時間未満	(28.3)	100.0	48.4	5.2	41.8	4.6
	2～4時間未満	(28.0)	100.0	46.4	6.6	41.1	6.0
	4時間以上	(10.6)	100.0	66.7	1.8	28.1	3.5
	第1子出生	(100.0)	100.0	35.8	2.1	58.4	3.7
	家事・育児時間なし	(11.1)	100.0	23.8	-	71.4	4.8
	1時間未満	(29.5)	100.0	28.6	3.6	66.1	1.8
	1～2時間未満	(26.8)	100.0	39.2	-	54.9	5.9
	2～4時間未満	(18.4)	100.0	34.3	5.7	57.1	2.9
	4時間以上	(11.6)	100.0	54.5	-	40.9	4.5
	第2子以降出生	(100.0)	100.0	52.0	6.6	37.4	4.0
	家事・育児時間なし	(7.1)	100.0	52.0	8.0	40.0	-
	1時間未満	(18.3)	100.0	42.2	6.3	50.0	1.6
	1～2時間未満	(29.1)	100.0	52.9	7.8	35.3	3.9
2～4時間未満	(33.1)	100.0	50.0	6.9	36.2	6.9	
4時間以上	(10.0)	100.0	74.3	2.9	20.0	2.9	

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの5年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が仕事ありであった夫婦
 2) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図13 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの5年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が仕事ありであった夫婦
 2) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

5 仕事をやめた者の退職理由

1年前の仕事をやめた者の退職理由は、「正規→正規」の男では「給与・報酬が少なかったから」、女では「会社の経営方針に不満を感じたから」が最も多い。

第1回から第6回まで回答を得られている男女のうち、1年前の仕事をやめた者について、第5回の就業形態、第6回の仕事の有無・就業形態別に、第6回の退職理由をみた。

男は、「正規→正規」で「給与・報酬が少なかったから」が最も多く、次いで「事業又は会社の将来に不安を感じたから」が多い。また、「非正規→非正規」では、「契約期間が満了したから」、「新しい仕事が見つかったから」が最も多く、次いで「給与・報酬が少なかったから」が多くなっている。

女は、「正規→正規」で「会社の経営方針に不満を感じたから」が最も多く、次いで「給与・報酬が少なかったから」が多い。また、「第6回仕事なし」では「出産・育児のため」が最も多くなっている。(表16)

表16 性、第5回の就業形態、第6回の仕事の有無・就業形態別にみた退職理由(複数回答)

(単位: %)

	男						女					
	第5回 正規			第5回 非正規			第5回 正規			第5回 非正規		
	第6回仕事あり(転職)		第6回仕事なし	第6回仕事あり(転職)		第6回仕事なし	第6回仕事あり(転職)		第6回仕事なし	第6回仕事あり(転職)		第6回仕事なし
	正規	非正規		正規	非正規		正規	非正規		正規	非正規	
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自分の希望する仕事ではなかったから	13.0	17.9	23.3	9.9	10.2	10.0	9.7	11.6	5.8	9.5	12.0	6.6
能力・実績が正当に評価されなかったから	21.1	17.9	25.6	9.9	8.5	13.3	21.0	14.5	5.8	15.9	9.0	6.6
給与・報酬が少なかったから	40.7	21.4	25.6	18.5	22.0	13.3	30.6	15.9	14.2	31.7	21.5	10.4
労働時間が長かった・休暇が少なかったから	30.9	21.4	23.3	6.2	10.2	13.3	29.0	29.0	16.7	15.9	9.4	11.0
独立・起業のため	0.8	1.8	9.3	-	-	-	-	-	-	-	0.9	-
通勤時間が長かったから	8.1	8.9	4.7	1.2	3.4	3.3	6.5	5.8	8.3	4.8	6.9	4.4
転勤が多かったから	0.8	1.8	-	-	-	-	1.6	-	-	1.6	-	-
一時的・不安定な仕事だったから	4.9	5.4	2.3	16.0	10.2	3.3	4.8	-	1.7	12.7	8.2	3.8
人間関係がうまくいかなかったから	13.8	14.3	18.6	3.7	10.2	6.7	21.0	17.4	11.7	12.7	13.7	9.9
会社の経営方針に不満を感じたから	30.1	21.4	20.9	9.9	11.9	10.0	32.3	24.6	16.7	11.1	11.6	8.2
事業又は会社の将来に不安を感じたから	31.7	26.8	16.3	9.9	6.8	3.3	24.2	20.3	10.0	6.3	4.3	3.8
結婚したから	1.6	1.8	-	1.2	1.7	-	1.6	10.1	20.0	-	0.9	9.3
出産・育児のため	-	-	-	-	-	-	1.6	5.8	27.5	1.6	1.3	31.9
健康がすぐれなかったから	7.3	10.7	16.3	-	5.1	13.3	6.5	13.0	12.5	4.8	7.7	13.7
家族の介護のため	0.8	-	-	-	1.7	-	-	1.4	2.5	-	1.7	2.7
家族が転勤したから	-	-	-	-	-	6.7	-	1.4	5.0	-	0.9	3.3
育児休業がとりにくかったから	-	1.8	-	-	-	-	-	1.4	4.2	1.6	0.9	2.2
会社から出向・転籍を命じられたから	4.1	3.6	2.3	-	1.7	-	1.6	-	1.7	-	0.9	-
希望退職に応じたから	2.4	1.8	2.3	1.2	-	3.3	-	-	1.7	-	0.4	1.6
倒産したから	6.5	5.4	7.0	1.2	3.4	-	-	2.9	4.2	1.6	3.0	1.6
解雇されたから	4.1	7.1	4.7	-	5.1	10.0	3.2	7.2	3.3	1.6	3.0	4.4
契約期間が満了したから	-	-	2.3	13.6	23.7	6.7	1.6	-	-	19.0	15.0	14.8
初めから短期のつもりだったから	2.4	5.4	4.7	11.1	6.8	13.3	-	-	0.8	6.3	9.0	3.3
新しい仕事が見つかったから	18.7	7.1	2.3	28.4	23.7	3.3	19.4	13.0	-	20.6	16.7	0.5
勉強のため	-	7.1	4.7	2.5	3.4	10.0	3.2	13.0	6.7	-	3.0	5.5

注：集計対象は、第1回から第6回まで回答を得られていて、第5回に仕事があり、その仕事を第5回から第6回の間にやめた者のうち、第5回の仕事が正規、非正規の者である。

参 考

1 集計客体数一覧

I 第1回の独身者の結婚の状況

III 就業の状況

集計対象としている「独身者」とは、以下のとおりである。

- ・第1回の独身者：第1回調査で独身であり、第6回まで回答を得られている者
- ・第3回の独身者：第3回調査で独身であり、第6回まで回答を得られている者

図表番号	集計対象の条件	客体数		対象となる調査票			
		男	女	男性票	女性票	配偶者票 (男性用)	配偶者票 (女性用)
表1, 図1 表10	第1回の男性票、女性票	6,836	7,630	○	○		
表2, 3 図2, 3	第1回の独身者	4,384	4,243	○	○		
表11, 図9 注)	この5年間に結婚した者	950	1,156	○	○		
表12, 図10 注)	この5年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性	/	1,035		○		
表11, 図9 注)	第6回独身者（この5年間に結婚していない者）	3,432	3,086	○	○		
表4, 図4 注)	第3回の独身者	4,032	3,795	○	○		
表16	1年前の仕事をやめた者	485	849	○	○		

注) 表4, 11については、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

II 夫婦における子どもの出生の状況

III 就業の状況

集計対象としている「夫婦」とは、①または②に該当する夫婦である。

- ① 第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦
- ② 第1回に独身で第5回までの間に結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦

図表番号	集計対象の条件	客体数						対象となる調査票			
		第1回 からの 夫婦	第2回 からの 夫婦	第3回 からの 夫婦	第4回 からの 夫婦	第5回 からの 夫婦	計	男性票	女性票	配偶者票 (男性用)	配偶者票 (女性用)
表5, 図5	夫婦	2,920	191	221	250	208	3,790	○	○	○	○
表6, 8 図6, 8 注)	出生ありの夫婦のうち、妻の「出生前データ（用語の定義12参照）」が得られていない夫婦を除く	2,790	172	199	201	171	3,533	○	○	○	○
表7, 図7	「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第5回に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	1,350	81	114	129	104	1,778		○		
表9 注)	出生ありの夫婦のうち、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年以前となる夫婦を除く	2,546	159	194	195	167	3,261	○	○	○	○
表13, 15 図11, 13 注)	この5年間に出生あり、出産前に妻に仕事あり	425	39	41	37	11	553		○		
表14, 図12	この4年間に出生ありで、出産前に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	247	35	37	36	11	366		○		

注) 表8, 9, 15については、調査対象となってから同居している夫婦のみを対象としている。

2 1以外の集計客体数

II 夫婦における子どもの出生の状況

表6 妻の仕事の有無別にみたこの5年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 533	915	1 031	1 587
仕事あり	2 178	647	495	1 036
（再掲）正規	712	292	183	237
（再掲）非正規	1 172	312	236	624
仕事なし	1 346	264	536	546
（再掲）夫・正規	2 714	742	792	1 180
（再掲）夫・非正規	133	45	39	49

表7 妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	1 778	572	365	841
制度あり	699	255	160	284
利用しやすい雰囲気がある	341	121	85	135
利用しにくい雰囲気がある	139	61	25	53
どちらともいえない	189	62	48	79
制度なし	622	172	127	323
制度があるかないかわからない	423	132	71	220

表8 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの5年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 419	882	1 002	1 535
家事・育児時間なし	270	184	31	55
2時間未満	941	477	168	296
2～4時間未満	694	141	204	349
4～6時間未満	504	24	189	291
6～8時間未満	224	8	99	117
8時間以上	665	3	282	380

表9 夫婦の合計所得階級別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 261	836	845	1 580
100万円未満	66	17	23	26
100～200万円未満	57	18	19	20
200～300万円未満	151	28	63	60
300～400万円未満	458	98	149	211
400～500万円未満	590	130	169	291
500～600万円未満	563	126	140	297
600～700万円未満	402	120	86	196
700～800万円未満	248	79	33	136
800～900万円未満	203	73	41	89
900～1,000万円未満	110	40	23	47
1,000万円以上	196	70	34	92

III 就業の状況

表12 年齢階級別にみた結婚した女性の就業継続の有無

	総数	（再掲）正規	（再掲）非正規
総数	1 035	637	320

表13 出生の有無、出生順位、就業形態別にみた妻の就業継続の有無

	出生あり	出生なし
総数	553	1 335

表15 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

	総数	第1子出生	第2子以降出生
総数	540	190	350

表16 性、第5回の就業形態、第6回の仕事の有無・就業形態別にみた退職理由（複数回答）

	男						女					
	第5回 正規		第5回 非正規		第5回 正規		第5回 非正規		第5回 正規		第5回 非正規	
	第6回 仕事あり （転職）		第6回 仕事あり （転職）		第6回 仕事あり （転職）		第6回 仕事あり （転職）		第6回 仕事あり （転職）		第6回 仕事あり （転職）	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
総数	123	56	43	81	59	30	62	69	120	63	233	182

用語の定義

- 1 「**独身者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**夫婦**」とは、第1回から第6回まで双方から回答を得られている夫婦、または、第1回に独身で第5回までに結婚し、結婚後第6回まで双方から回答を得られている夫婦である。
- 3 「**結婚した**」及び「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 4 「**正規**」及び「**非正規**」は次の就業形態をいう。
「正規」… 正規の職員・従業員
「非正規」… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。
- 5 「**同一就業継続**」とは、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
- 6 出生の状況の「**出生あり**」とは、夫婦の双方から回答を得られてからの出生である。
- 7 「**子どもなし**」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 8 「**育児休業制度の有無**」とは、「あなたのお勤めの会社等には、あなたの就業形態で利用可能な次の制度はありますか」と質問した時の、育児休業制度についての回答である。
- 9 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 10 「**第1回**」「**第2回**」「**第3回**」「**第4回**」「**第5回**」「**第6回**」とは、それぞれの回の調査で把握した項目である。
- 11 「**結婚前**」「**結婚後**」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査において把握した状況である。
- 12 「**出生前（出産前）**」とは、各年の調査の翌月12月から翌年5月までの出生の場合は前々回調査（A）、6月から次の調査までの出生の場合は前回調査（B）において把握した状況である。これは、出生に係る分析において、妊娠が判明していない時点の状況を把握するものである。
（A）出生の13～18か月前の状況
（B）出生の7～12か月前の状況
また、「**出生前データ**」とは、出生前（出産前）の時点で把握した対象者のデータをいう。
- 13 「**出生後（出産後）**」とは、出生直後の調査において把握した状況である。

- 14 「この5年間」とは、第1回調査から第6回調査までの間のことをいう。また、「この4年間」とは第2回調査から第6回調査までの間、「この3年間」とは第3回調査から第6回調査までの間、「この2年間」とは第4回調査から第6回調査までの間、「この1年間」とは第5回調査から第6回調査までの間のことをいう。
- 15 「所得額」は、1年間の働いて得た所得とその他の所得の合計金額であり、第3回では平成15年分を、第4回では平成16年分を、第5回では平成17年分を、第6回では平成18年分を把握した。